



## 2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月28日

上場会社名 フューチャー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4722 URL <https://www.future.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 金丸 恭文

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンシャル&アカウンティンググループ グループ長 (氏名) 岩田 真一

TEL 03-5740-5724

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	32,410	4.3	3,934	19.4	2,832	11.5
2019年12月期第3四半期	33,879	17.7	4,883	19.7	3,199	1.1

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 9,167百万円 (219.6%) 2019年12月期第3四半期 2,868百万円 (38.1%)

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2020年12月期第3四半期	63.73
2019年12月期第3四半期	71.55

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	48,382	36,919	76.2	833.43
2019年12月期	39,039	30,296	77.6	677.50

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 36,871百万円 2019年12月期 30,296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		18.00		21.00	39.00
2020年12月期		20.00			
2020年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	3.1	5,000	23.4	3,500	23.2	78.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	47,664,000 株	2019年12月期	47,664,000 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	3,422,611 株	2019年12月期	2,946,587 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	44,442,242 株	2019年12月期3Q	44,708,613 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
受注の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は32,410百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は3,934百万円（同19.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,832百万円（同11.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が非常に不透明であり、不確実性の高い経済環境が続きました。このような状況下、ITコンサルティング&サービス事業において、一部顧客企業のIT投資の抑制、延期等が売上を下押ししたことに加え、一部プロジェクトの納期の遅れに伴う追加人員投入等により、コストが増加しました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間におきましては、フューチャーアーキテクト株式会社（フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む）が前年同期比で減収・減益となったこと等により、ITコンサルティング&サービス事業は、売上高・営業利益ともに減少しました。ビジネスイノベーション事業は、全ての会社で営業損益が改善し、セグメントとして営業黒字に転換しました。これにより、当社グループ連結での売上高は前年同期比4.3%減、営業利益は同19.4%減となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比で11.5%減となりました。

各セグメントの業績については以下のとおりです。

#### ① ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社（フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む）は、業務改善に取り組む金融業界や、店舗デジタル化を図る小売業からの受注が安定的に推移したほか、基幹システム刷新やDX推進に向けたグランドデザイン等の受注が増加しましたが、新規プロジェクトの開始の後ずれや、既存プロジェクトの納期の遅れが発生したこと、また、一部難度の高い既存プロジェクトのテスト費用の増加により、売上高、営業利益ともに減少しました。

フューチャーインスペース株式会社は、フューチャーアーキテクト株式会社との連携により、同社が構築したプロジェクトの保守・運用案件は堅調に推移したものの、新規開発案件の減少から、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少しました。

FutureOne株式会社は、一部プロジェクトで納期の遅れが発生したことにより、これへの対応に人員を優先的に投入したことから、売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅に減少しました。

株式会社ワイ・ディ・シーは、一部取引先企業の投資スタンス見直しの影響により、売上高は前年同期比で減少しましたが、製造業の品質情報の統合・解析を行う自社ソフトウェア「YDC SONAR」の販売が好調であることなどから、営業利益は前年同期比で増加しました。

株式会社ディアイティは、セキュリティ関連サービスが好調であるほか、GIGAスクール向けのネットワーク環境構築関連の受注が増加しており、売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅に増加しました。

この結果、本セグメントの売上高は25,982百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は3,659百万円（同21.4%減）となり、売上高・営業利益ともに減少しました。

#### ② ビジネスイノベーション事業

株式会社eSPORTSは、新型コロナウイルス感染症拡大のもとで室内トレーニング需要が堅調に推移し、自社ブランド商品が伸長したほか、従前からのブランド認知活動によりアウトドア商品等においても自社ブランド商品の販売が好調に推移したことで、売上高・営業利益ともに前年同期比で増加しました。

コードキャンプ株式会社は、新型コロナウイルス感染症拡大のもと、個人のオンライン教育ニーズ増加により個人の講座受講が継続的に増加したことに加え、オンライン研修窓口の設置等により、働き方を見直す企業のオンライン研修需要を取り込んだことにより、売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅に増加しました。

東京カレンダー株式会社は、「東カレデート」等のネットサービスが安定的に推移していることに加え、月刊誌やWEBメディアにおけるオンラインサービスの展開等により、新たな生活様式に即したニーズ取込に注力し、売上高が前年同期比で増加しました。これにより、営業損益は前年同期の赤字から、黒字へ転換しました。

ライブリッツ株式会社は、既存のプロ野球球団へのサービス提供等が安定的に推移したほか、アマチュアスポーツ向けサービスの新規開始等により、売上高・営業利益ともに前年同期比で増加しました。

この結果、本セグメントの売上高は6,477百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は349百万円（前年同期は53百万円の損失）となり、セグメントとして営業黒字に転換しました。

注) 上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月28日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2020年7月31日の2020年12月期第2四半期決算発表時に開示した2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,929,901	15,113,438
受取手形及び売掛金	7,087,190	6,105,387
有価証券	—	200,000
商品及び製品	995,544	1,125,434
仕掛品	351,639	1,358,589
その他	1,363,881	1,346,959
貸倒引当金	△3,007	△3,000
流動資産合計	24,725,149	25,246,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,710,429	1,732,780
減価償却累計額	△965,749	△1,026,585
建物及び構築物（純額）	744,679	706,194
土地	855	855
その他	2,888,097	2,786,872
減価償却累計額	△2,247,982	△2,203,745
その他（純額）	640,115	583,126
有形固定資産合計	1,385,650	1,290,177
無形固定資産		
のれん	178,023	148,289
ソフトウェア	1,673,554	1,644,790
顧客関連資産	624,000	468,000
その他	5,608	5,623
無形固定資産合計	2,481,186	2,266,703
投資その他の資産		
投資有価証券	8,779,498	17,940,824
敷金及び保証金	1,433,233	1,447,630
繰延税金資産	16,680	9,727
その他	237,322	192,034
貸倒引当金	△19,502	△11,001
投資その他の資産合計	10,447,232	19,579,216
固定資産合計	14,314,070	23,136,096
資産合計	39,039,219	48,382,907

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和元年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,305,448	1,264,470
1年内返済予定の長期借入金	11,472	4,432
1年内償還予定の社債	8,000	—
未払金	1,326,754	861,999
未払法人税等	854,922	808,367
賞与引当金	238,574	929,357
品質保証引当金	65,617	69,844
プロジェクト損失引当金	254,804	805,312
その他	2,487,069	2,211,563
流動負債合計	6,552,663	6,955,346
固定負債		
長期借入金	3,320	—
資産除去債務	406,303	407,947
繰延税金負債	1,635,440	3,923,263
その他	145,237	176,828
固定負債合計	2,190,301	4,508,039
負債合計	8,742,965	11,463,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,421,815	4,000,000
資本剰余金	2,525,165	21,333
利益剰余金	23,232,499	24,187,759
自己株式	△1,493,579	△2,235,662
株主資本合計	25,685,901	25,973,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,598,333	10,887,018
繰延ヘッジ損益	586	△1,069
為替換算調整勘定	11,432	12,611
その他の包括利益累計額合計	4,610,352	10,898,560
非支配株主持分	—	47,529
純資産合計	30,296,254	36,919,520
負債純資産合計	39,039,219	48,382,907

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成31年1月1日 至令和元年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自令和2年1月1日 至令和2年9月30日）
売上高	33,879,841	32,410,144
売上原価	19,814,349	19,071,018
売上総利益	14,065,492	13,339,126
販売費及び一般管理費		
役員報酬	356,929	395,411
給料及び賞与	3,494,606	3,638,347
研修費	280,060	397,494
研究開発費	332,579	438,805
減価償却費	284,750	291,457
採用費	341,713	340,390
その他	4,091,243	3,902,235
販売費及び一般管理費合計	9,181,883	9,404,141
営業利益	4,883,609	3,934,984
営業外収益		
受取利息	1,053	572
受取配当金	74,737	74,855
持分法による投資利益	42,951	1,731
為替差益	5,975	1,210
その他	2,589	12,205
営業外収益合計	127,308	90,575
営業外費用		
支払利息	5,004	230
営業外費用合計	5,004	230
経常利益	5,005,912	4,025,329
特別利益		
投資有価証券売却益	—	93,318
特別利益合計	—	93,318
特別損失		
為替換算調整勘定取崩損	175,312	—
持分変動損失	1,848	683
特別損失合計	177,160	683
税金等調整前四半期純利益	4,828,752	4,117,964
法人税等	1,612,811	1,238,263
四半期純利益	3,215,940	2,879,701
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,199,109	2,832,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,831	47,529



（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成31年1月1日 至 令和元年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△458,894	6,288,685
繰延ヘッジ損益	2,110	△1,655
為替換算調整勘定	109,963	243
持分法適用会社に対する持分相当額	△264	934
その他の包括利益合計	△347,084	6,288,207
四半期包括利益	2,868,855	9,167,909
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,851,988	9,120,379
非支配株主に係る四半期包括利益	16,867	47,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成31年1月1日 至令和元年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコンサルティング&サービス事業	ビジネスイノベーション事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	28,029,361	5,850,480	33,879,841	—	33,879,841	—	33,879,841
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	37,975	27,653	65,629	—	65,629	△65,629	—
計	28,067,337	5,878,133	33,945,471	—	33,945,471	△65,629	33,879,841
セグメント利益又は損失(△)	4,658,595	△53,210	4,605,385	1,504	4,606,889	276,719	4,883,609

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び持株会社（テクノロジー部門を除く）の収益並びに費用の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自令和2年1月1日 至令和2年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコンサルティング&サービス事業	ビジネスイノベーション事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	25,961,616	6,445,183	32,406,800	3,343	32,410,144	—	32,410,144
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,181	32,716	53,898	27,333	81,231	△81,231	—
計	25,982,798	6,477,900	32,460,698	30,676	32,491,375	△81,231	32,410,144
セグメント利益又は損失(△)	3,659,649	349,817	4,009,467	△14,028	3,995,438	△60,454	3,934,984

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び持株会社（テクノロジー部門を除く）の収益並びに費用の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注の状況

（単位：千円）

区分	前第3四半期連結累計期間 （自 平成31年1月1日 至 令和元年9月30日）		当第3四半期連結累計期間 （自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング&サービス事業	27,684,440	11,565,937	22,982,443	9,544,549
ビジネスイノベーション事業	1,313,316	362,381	1,617,194	364,669
合計	28,997,757	11,928,319	24,599,637	9,909,218

区分	第2四半期連結会計期間 （自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日）		当第3四半期連結会計期間 （自 令和2年7月1日 至 令和2年9月30日）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング&サービス事業	7,964,900	10,428,710	7,061,040	9,544,549
ビジネスイノベーション事業	450,180	335,636	577,692	364,669
合計	8,415,081	10,764,347	7,638,732	9,909,218